

中期標準化戦略（概要と目的）		専門委員会・AG名	BSG専門委員会	1/3
企画戦略委員	山田 徹（NEC）	登録委員数	4	
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長：荒木 則幸（NTT） / 副委員長：山本 秀樹（OKI）	図解		
活動の目的・意義	総務省より2020年5月に公表された「海外展開行動計画2020」では、「新興国を中心とした世界の膨大なインフラ需要への対応」、「SDGs等世界規模での社会課題解決への取組み」の重要性が謳われており、日本企業が有する技術の海外展開を推進することを重要な政策課題としている。その具体的な活動の1つとして「デジタル海外展開プラットフォーム」が設置され、官民一体となり、日本のデジタル技術を活用した海外展開の挑戦を進めている。 また、標準化の観点では、世界的なトレンドとして標準をビジネスにつなげていくため、従来の性能・機能・方式の標準でなく、社会課題を解決するシステム・サービス・ソリューション丸ごとの標準が求められている状況にあり、日本企業がグローバルビジネスを展開する上で、これを踏まえた戦略が必要である。 このような認識の基に、当委員会は主にアジア新興国のニーズに対応するソリューション利用標準を策定し、合わせてその推進に必要な連携構築や、将来のビジネス展開につながるプロモーションをも含めた活動を持続的に推進する。			
活動する上での課題 （人材面や運用面での課題を含む）	新規プロジェクトの創出 / 国外パートナー・人脈の維持、開拓			
関連のSDGsゴール				
標準化方針	[アップストリーム活動] ・ASTAP文書（APT Report）として登録された「ICTソリューションハンドブック」を、各国の要望を盛り込みながら改訂提案を継続し、利用標準としてのハンドブックの完成度・有用性を高めることに貢献していく。 ・アジア各国での実証実験結果をICT分野別に体系化し、実施ノウハウを共有化する導入ガイドラインを策定し、各国のICTソリューション導入を支援する。 [TTCドキュメント制定] ・上記「ICTソリューションハンドブック」はTTC技術レポート(TR)として文書化し、新興国ビジネス開拓に向けた利用標準として活用する。			
国内外の標準化団体等の動向	世界電気通信標準化会議（WTSA-12）において、Resolution 44 “Bridging the standardization gap between developing and developed countries” の改訂が議論され、ITU-T各SGに対して途上国が置かれた特有な状況に配慮して標準化を適切に進めるよう指示することが新たに盛り込まれた。WTSA-20（2022年3月）でも本決議の継続が決定された。これは今後標準策定にあたって途上国での利用を考慮した視点や切り口が求められていることを意味している。			



SHARE solution model through Broadband Network

SHARE
Success & Happiness by Activating Regional Economy

Local Community

Sensor Network



Usability
-Simple
-enjoyable
-fancied by children

KnowledgeCenter University

Experts for
- Health
- Agriculture
- Education
- Environment



R&D center



Data

Broadband Network

Knowledge Solution Language Grid

Proprietary Information of TTC, Promotion Committee and Projects

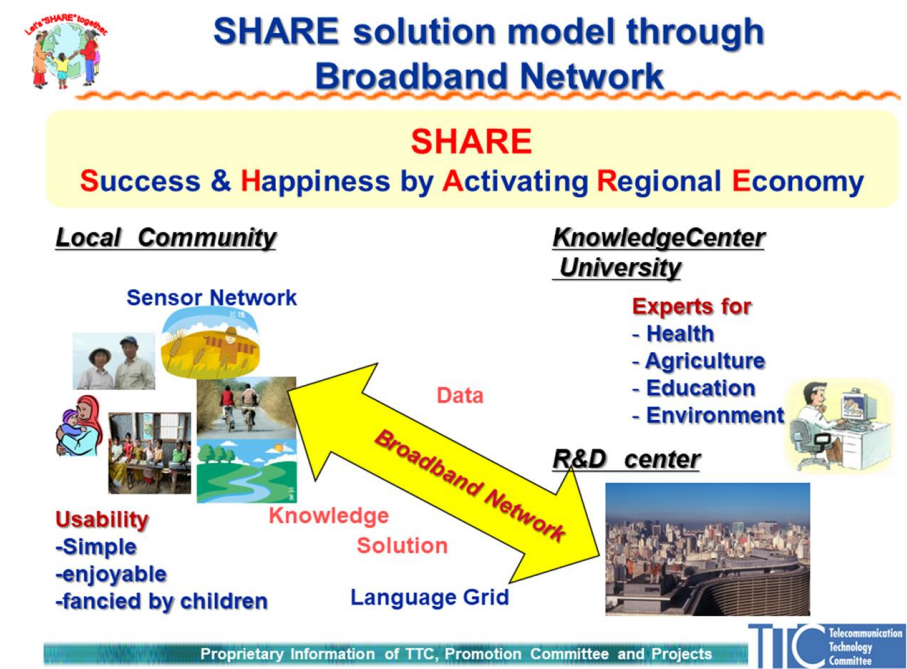
TTC
Telecommunication Technology Committee

用語

1: ASTAP: Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program Forum

2: EG BSG: Expert Group on Bridging the Standardization Gap

3: SHAREミーティング: “Success & Happiness by Activating Regional Economy” を合言葉にしたアジア各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)の通信主管庁・大学関係者等との連絡会組織。各国にて農業・水産業・教育・医療・環境等に関するICTソリューション導入パイロットプロジェクト等を実施



用語

1: ASTAP: Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program Forum

2: EG BSG: Expert Group on Bridging the Standardization Gap

3: SHAREミーティング: “Success & Happiness by Activating Regional Economy” を合言葉にしたアジア各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)の通信主管庁・大学関係者等との連絡会組織。各国にて農業・水産業・教育・医療・環境等に関するICTソリューション導入パイロットプロジェクト等を実施

中期標準化戦略（2022年度重点取り組みと活動報告）			専門委員会・AG名	BSG専門委員会	2/3
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー・改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ(アイデアソン)を開催 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進				
関連する専門委員会または外部組織と内容	新規プロジェクトの内容により、個別に相談する。				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件 ・ASTAP EG BSG(2022年4月予定) - ICTソリューションハンドブック改定提案	1件 ・ASTAP-34 EG BSG (2022年4月) - ICTソリューションハンドブック改定提案(マレーシアのケース追加)		
	外部会合への参加・連携状況	・ASTAP: 1回 (2022年4月予定) ・SHAREミーティング: 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ(マレーシアMTSFB、タイNBTC等) ・アイデアソン開催	・ASTAP-34 e-Meeting (2022年4月) ・SHAREミーティング-18 タイにて開催 ・マレーシアMTSFBとの会合開催(2022年7月) ・マレーシアでのAPTプロジェクト完了式への参加(2022年7月) ・ADF-19 e-meeting (2022年11月)でのプロジェクト紹介 ・タイ農村コミュニティとの国際ワークショップ開催		
② ドキュメント作成 国内標準仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件		
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定	0件/1件/0件 ・TR-1058 第5版 2022/3/1 遠隔地域でのICTソリューション導入に向けたハンドブックにミャンマーでの新たなケーススタディ” e-Healthcare for end epidemic of Tuberculosis in Myanmar ”を追加		
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0 件 TR制定: 0 件	TS制定: 0件 TR制定: 0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 2回	セミナー 2回 - 2022/7/21 APTプロジェクト 成果報告セミナー開催(サラワク総合病院(マレーシアサラワク州 クチン市)) - 2022/11/23 APTプロジェクト “Behavioural Analytics and Real-time Tracking of Patients Using IoT and RFID” 成果発表(ADF-19 onlineにて)		
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事: イベント毎に報告	TTCレポート記事 3件		

中期標準化戦略（2023年度重点取り組みと活動予定）			専門委員会・AG名	BSG専門委員会	3/3
新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー・改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 現地の人々とICTエキスパートとの間の知識の橋渡しに焦点を当てたケーススタディ研究を共有するワークショップを開催し、女性ICTエキスパートの主導により、地域課題の解決を検討 ③ 現地の人々と女性ICTエキスパートやアーキテクト、若いICTエキスパートの3者間のコラボレーションにより、農業・観光・健康管理などの地域課題を解決するICTソリューションを提案することを目的とするアイデアソンを実施 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 ⑤ 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 ⑥ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続				
関連する専門委員会または外部組織とその内容	新規プロジェクトの内容により、個別に相談				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件 ・ASTAP EG BSG(2023年4月予定) - ICTソリューションハンドブック改定提案(マレーシアのケース追加)			
	外部会合への参加・連携状況	・ASTAP: 1回（2023年4月予定） ・SHAREミーティング: 1回 ・ワークショップ: 1回 ・アイデアソン開催: 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ（マレーシアMTSFB、タイNBTC等）			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件			
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定（マレーシアでのケース追加）			
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定 TR制定:		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 2回			
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事: イベント毎に報告			